

「水道ビジョン」検討のためのアンケート調査(その1)について(依頼)

各水道事業者 御中

各水道用水供給事業者 御中

平成15年9月11日

社団法人 全国上下水道コンサルタント協会

この度、厚生労働省の依頼により、「水道ビジョン」の策定に関する資料収集等一連の調査について本協会が実施することとなりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、本アンケート調査票にご回答賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 調査対象

アンケート調査(その1)は、全国の水道事業、水道用水供給事業の中で電子メールアドレスが確認できた事業者を対象としております。(簡易水道事業は除きます。)

貴事業体に複数の水道事業等が存在する場合は、事業毎に回答くださいますようお願いいたします。

2. 調査内容

水道事業における現状、意識調査などについて、次の項目についてお答えください。

- ・ 表紙(回答者連絡先や、水道事業における給水人口、給水量などについて)
- ・ 1. 鉛管対策について
- ・ 2. 危機管理について
- ・ 3. 水質管理について
- ・ 4. 住民参加について
- ・ 5. 広域化について
- ・ 6. 環境保全について
- ・ 7. その他について

3. 回答期限

平成15年10月3日(金)までに回答をお願いいたします。

4. 返送先(Eメールにて返信願います)

今回のアンケートは電子メールを利用して実施します。このエクセルファイルの表紙シート及び、1～7のシートに記入いただき、(株)東京設計事務所 水道グループの次の返信先メールアドレスに返信してください。

返信先メールアドレス : answer@tokyoengicon.co.jp

5. 返送するエクセルファイルの名称について

このエクセルファイルの名称は、「アンケート調査票(その1)」となっておりますが、集計作業における整理の都合上、返送するエクセルファイルは、「アンケート調査票(その1)」の後に都道府県番号と事業者番号(3桁)を加えた名称に変更した上で、返信メールに添付して頂くようお願いいたします。

例：函館市水道局の場合のエクセルファイル名は、

県番号「**1**」と事業者番号「**001**」を加えた「**ビジョン調査票(その1) 1001**」となります。

6. 内容についてのお問い合わせ

アンケート調査（その1）の調査内容1～5については、(株)東京設計事務所 水道グループ 園山、片石まで

メールアドレス : toru_sonoyama@tokyoengicon.co.jp
: kinya_kataishi@tokyoengicon.co.jp

アンケート調査（その1）の調査内容の6、7については、(株)東京設計事務所 環境グループ 水船、尾崎まで

メールアドレス : kiyoshi_mizufune@tokyoengicon.co.jp
: yoko_osaki@tokyoengicon.co.jp

<アンケート調査（その2）について>

アンケート調査（その2）については、一部の水道事業、水道用水供給事業、簡易水道事業を対象としておりますので、対象事業者のみにアンケート調査票（その2）を別途送信（または送付）させていただきます。

以上

「水道ビジョン」検討に関するアンケート調査票 (その1)

回答者
連絡先

都道府県名		
台帳番号		
フリガナ		
事業者		
フリガナ		
事業名称		
フリガナ		
記入者氏名		
所属部署名		
電話番号、内線		(内 線)

[記 入 要 領]

台帳番号：台帳番号は認可申請時に提出した水道台帳に記載されている番号を正確に記入してください。都道府県番号の後ろにハイフン“-”を付けずに事業者番号(3桁)を続けて記入してください。例えば、函館市水道局の場合、県番号が「1」で事業者番号が「1」でなので、1001となります。同様に、事業者番号が53であれば、県番号の後に053と記入してください。

事業者：市町村経営の場合は、〇〇市と記入し、水道局や水道部等は記入しなくて結構です。

所属部署名：記入者の連絡先部署について部局名から記入し、「水道局総務課庶務係」や「水道部業務課企画係」のように正確にすべて記入してください。

電話番号：代表電話の場合は必ず内線欄に内線番号を記入してください。(半角入力のみ)

[備考] (連絡事項がある場合にのみ活用してください)

--

0 事業規模について (平成14年度末現在)

① 計画給水人口

 人

①③

認可で位置付けられた目標年度における数値を記入してください。

② 現在給水人口

 人

②④

③ 計画一日最大給水量

 m³/日

④ 実績一日最大給水量

 m³/日

現在給水人口平成14年度末(平成15年3月31日)現在で回答してください。実績一日最大給水量は平成14年度の実績を回答して下さい。ただし、14年度末現在で建設中(未給水)の事業者にあつては、0で回答してください。

1. 鉛管対策について

1-1. 配水管における対策について (平成14年度末現在)

① 鉛製の配水管が残存していますか？

1:残存している

2:残存していない

② 鉛製配水管の残存延長 (m)

(①で「1:残存している」と回答した場合のみ記入して下さい)

 m

1-2. 給水管における対策について (平成14年度末現在)

① 公道部の鉛製給水管の残存状況を把握できていますか？

1:全て把握している

2:一部把握できていないので調査中

3:一部把握できていないが調査は未実施

4:ほとんど把握していない

② 公道部の鉛製給水管使用率について、概数で結構ですので記入して下さい。

 %

③ 宅地部 (私道を含む) の鉛製給水管の残存状況を把握できていますか？

1:全て把握している

2:一部把握できていないので調査中

3:一部把握できていないが調査は未実施

4:ほとんど把握していない

④ 宅地部 (私道を含む) の鉛製給水管使用率について、概数で結構ですので記入して下さい。

 %

⑤ 鉛製給水管対策を実施している場合、その内容について該当するもの下記から全て選択して下さい。

- ☐ 公道部の鉛製給水管の布設替計画を策定し、それに基づいて布設替を実施している。
- ☐ 宅地部 (私道を含む) の鉛製給水管の布設替計画を策定し、それに基づいて布設替を実施している。
- ☐ 鉛の溶出を低減するため、pH調整を実施している。
- ☐ 宅地部 (私道を含む) の鉛管布設替促進のための広報活動を行っている。
- ☐ 朝一番の滞留水は飲用以外に用いるように広報している。
- ☐ その他何らかの対策を実施している。(具体的に記入してください)

[記入上の注意事項]

1-1
平成14年度末現在の状況を記入して下さい。

1-2①
鉛製給水管が存在していないことを把握している場合は、「1:全て把握している」を選択して下さい。

1-2②

公道部の鉛製給水管使用率
= (公道部に鉛製給水管を使用している給水戸数 / 全給水戸数) × 100

1-2③

鉛製給水管が存在していないことを把握している場合は、「1:全て把握している」を選択して下さい。

1-2④

宅地部の鉛製給水管使用率
= (宅地部 {私道を含む} に鉛製給水管を使用している給水戸数 / 全給水戸数) × 100

2. 危機管理について (記入日現在の状況を回答して下さい)		【記入上の注意事項】
2-1. 緊急時の連絡体制の整備について		2-1. 緊急時とは、地震、豪雨による災害、水質事故、施設事故、停電、テロ等とします。
① 緊急時に備えて内部の連絡体制を整備していますか？ 1:している 2:していない 3:策定中 ② 緊急時に備えて外部との連絡体制を整備していますか？ 1:している 2:していない 3:策定中 		
2-2. 初動体制の整備について		2-2. 初動体制とは、対策本部の設置等の組織的な体制が整うまでの限られた人員で行う業務態勢とし、業務内容としては被害調査、緊急措置、人員配置、給水確保等とします。
初動体制が整備されている緊急時事象について、下記の中から該当する項目を全て選択して下さい。 ☐ 地震 ☐ 豪雨による災害 ☐ 水質事故 ☐ 施設事故 ☐ 停電 ☐ テロ ☐ その他		
2-3. 危機管理マニュアルの整備について		2-3. ①～⑧ マニュアルとは、役割分担や、初動体制などの内容が整理されているものとしてします。 なお、⑧その他マニュアル名称を記入した場合は、その下段の対象としている緊急時事象も記入して下さい。
策定している危機管理マニュアルについて、そのマニュアル名称を記入して下さい。 なお、マニュアルが複数ある場合は、複数記入して下さい。 ① 地震対策マニュアルの名称 		
② 豪雨などの災害対策マニュアルの名称 		
③ 水質事故対策マニュアルの名称 		
④ 施設事故対策マニュアルの名称 		
⑤ 停電対策マニュアルの名称 		
⑥ テロ対策マニュアルの名称 		
⑦ 渇水対策マニュアルの名称 		
⑧ その他対策マニュアルの名称 		
対象としている緊急時事象：		

2－4. 防災訓練の実施について

① 水道施設に関する定期的な防災訓練の頻度について、適当なものを下記から選択して下さい。

- 1:実施していない 2:数年に1回程度実施
3:年に1回実施 4:年に2回以上実施

② 実施方法や参加者について、該当する項目を下記からすべて選択して下さい。

- ☐ 水道事業者自らの訓練を実施している。
☐ 水道事業者以外の関係機関が主催する訓練に参加する。
☐ 他の水道事業者との合同訓練を実施している。
☐ 原則としてすべての職員が参加する。
☐ 希望する職員が参加する。
☐ 指名を受けた職員が参加する。
☐ その他 (具体的に回答してください)

③ どのような訓練を実施しているか具体的に回答して下さい。

2－4. ①
水道施設が対象とならない訓練
は除いて下さい。

2-5. 他水道事業者との応援体制について

- ① 他水道事業者等との応援給水や応急復旧に係わる協定（日本水道協会の支部協定は除く）を結んでいますか？

1:結んでいる 2:結んでいない

結んでいる場合、その協定名称、相手先の名称を記入し、協定内容として該当する項目を全て選択して下さい。

協定名称

相手先の名称

協定内容

☐ 資機材の提供

☐ 職員の派遣

☐ 飲料水供給支援

☐ その他

- ② 隣接水道事業者との間に連絡管がありますか？

1:あり 2:なし

連絡管の箇所数:

箇所

また連絡管がある場合、連絡管で給水できるその最大給水量を記入して下さい。
なお、連絡管が複数ある場合は、最大給水量の合計を記入して下さい。

連絡管での合計給水水量:

(m³/日)

- ③ 浄水場が被災し、供給不能となった場合に、他から確保可能な水量を記入して下さい。

A: 被災時に他水道事業との連絡管で確保可能な全給水量

m³/日

B: 被災時に使用可能な予備水源水量

m³/日

C: 被災時に水道用水供給から増強される受水量

m³/日

D: その他水量（他の水道事業からの分水量の増強等）

m³/日

E: 上記合計水量 (A + B + C)

0 m³/日

- ④ 複数の水源がありますか？

1:あり 2:なし

存在する場合、それら水源間における原水の相互融通が可能ですか？

1:可能である 2:不可能である

- ⑤ 複数の配水系統がありますか？

1:あり 2:なし

ある場合、それら配水系統間における浄水の相互融通は可能ですか？

1:可能である 2:不可能である

2-5. ①

「1:結んでいる」と回答した場合協定名称、相手先、協定内容（概要）について記入して下さい。
なお、相手先が複数ある場合は読点で続けて記入して下さい。

2-5. ②

「1:あり」と回答した場合連絡管の箇所数、連絡管で給水できる最大給水水量について記入して下さい。
なお、連絡管が複数ある場合は、各々の連絡管における最大給水量の合計を記入して下さい。

2-5. ③

予備水源とは、通常使用している水源の能力が低下した場合に、使用できる水源であり、一般に井戸などがある。

水道用水供給から増強される受水量は、その受水量が確定している場合に記入して下さい。

2-6. 地震対策について

<浄水場・配水池の耐震化について>

- ① 浄水場の施設の耐震化の実施状況について、下記の内容に該当する浄水場の数を記入して下さい。

A: 全ての浄水場数

B: 十分な耐震性を有する浄水場数

C: 耐震性が十分でないが、今後対策を実施する予定のある浄水場数

D: 耐震性が十分でなく、今後対策を実施する予定もない浄水場数

E: 現状の耐震化率: B ÷ A

 %

- ② 配水池の施設の耐震化の実施状況について、下記の内容に該当する配水池の数を記入して下さい。

A: 全ての配水池数

B: 十分な耐震性を有する配水池数

C: 耐震性が十分でないが、今後対策を実施する予定のある配水池数

D: 耐震性が十分でなく、今後対策を実施する予定もない配水池数

E: 現状の耐震化率: B ÷ A

 %

- ③ 全ての浄水池、配水池について、池数と貯留水量の合計値を記入して下さい。また、それら池数の中で、緊急遮断弁のある池数と貯留水量の合計値を記入して下さい。

A: 全ての浄水池・配水池について

池数: 池 貯留水量 (合計): m³

B: Aの中で、緊急遮断弁のある浄水池・配水池について

池数: 池 貯留水量 (合計): m³

<管路の耐震化について>

- ④ 下記の管路の耐震化の内、実施している内容について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

☐ 幹線などの配水管についてSII形、NS形、S形継手等の耐震性の高い管の採用

☐ 伸縮可撓継手の採用

☐ 弁栓類の耐震化

☐ 水管橋等の特殊形態管路の耐震化

☐ 二重化、ループ化、ブロック化等の管路システムとしての耐震化 (具体例を下記に記入してください)

☐ その他

2-6. ①

浄水場単位の数を、記入して下さい。

耐震化の実施状況については、浄水場の中の主要な施設を対象として下さい。
浄水場の中で、被災時の給水に直接影響を及ぼさない排水処理施設等は除いて判断して下さい。

「B:十分な耐震性を有する施設」とは、耐震診断に基づいて耐震性があると判断された施設を指します。

A=B+C+Dとなるように数値を記入して下さい。

2-6. ②

浄水場以外の配水池の数を、記入して下さい。

「B:十分な耐震性を有する施設」とは、耐震診断に基づいて耐震性があると判断された施設を指します。

A=B+C+Dとなるように数値を記入して下さい。

2-6. ③

貯留水量には、浄水池、配水池の有効容量の合計を記入して下さい。

<地震対策の費用負担について>

- ⑤ 一般会計から費用を負担（一部負担も含む）している耐震化対策（事前対策）として、下記の中から該当する内容を全て選択して下さい。

- ☐ 取水・導水施設の耐震化 ☐ 浄水施設の耐震化 ☐ 配水池の耐震化
☐ 管路の耐震化 ☐ 給水装置の耐震化 ☐ 緊急遮断弁の設置
☐ 配水池の大容量化 ☐ 耐震性貯水槽等の給水拠点の整備
☐ その他

<応急対策について>

- ⑥ 応急復旧の目標期間が設定されていますか？

▼

1:あり 2:特に設定していないが、可及的速やかに復旧 2:なし

また、その期間はどの程度ですか？（⑥で「1:あり」または、「2:特に設定しないが、可及的速やかに復旧」を選択した場合）

- ☐ 7日間以内 ☐ 10日間程度 ☐ 2週間程度 ☐ 3週間程度
☐ 4週間程度 ☐ 5週間程度 ☐ 6週間程度以上

- ⑦ 応急給水計画がありますか？

▼

1:あり 2:なし

ある場合、計画の中に応急給水における目標水量、給水方法、給水地点などの具体が定められていますか？

▼

1:あり 2:なし

定められている場合、被災から10日目の目標水量として設定されている一人当たりの給水量について、下記から該当するものを選択して下さい。

- ☐ 5リットル未満 ☐ 5リットル以上10リットル未満
☐ 10リットル以上20リットル未満 ☐ 20リットル以上30リットル未満
☐ 30リットル以上50リットル未満 ☐ 50リットル以上100リットル未満
☐ 100リットル以上

- ⑧ 震災直後に給水可能な応急給水拠点の数を記入して下さい。

地点

- ⑨ 貴事業体は、東海地震対策強化地域に含まれていますか？

▼

1:含まれている 2:含まれていない

2-7. テロ対策について

- ① テロ対策として実施していることがありますか？

▼

1:あり 2:なし

また、ありの場合の具体的な内容として、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ モニターによる水源、浄水場、配水池等の監視 ☐ 施設などへの進入防止対策（ハード面）
☐ 来訪者の入退出の管理（ソフト面） ☐ 警備会社などによる遠隔監視
☐ 警備員の増員 ☐ 魚類などを用いた水質異常監視
☐ 浄水施設への覆蓋
☐ その他

2-6. ⑥

応急復旧期間とは、全ての被災者に対して断水が解消されるまでの期間を指します。

2-6. ⑧

応急給水拠点とは、耐震性貯水槽、非常用水槽、予備水源等の施設を指します。
給水車による給水拠点は除いて下さい。

3. 水質管理について (記入日現在の状況を回答して下さい)		【記入上の注意事項】																																										
3-1. 原水水質管理について																																												
① 水源及び原水汚染の対策として実施している内容について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。 ☐ 汚染源となりうる事業場等のマップ作成 ☐ 水源汚染時の連絡体制整備 ☐ モニターによる取水地点の監視 ☐ 原水の自動水質監視 ☐ その他 ② 水源保全条例 (またはこれに類する条例) は制定されていますか？ ▼ 1:制定されている 2:制定されていない 制定している場合、その名称を記入して下さい。 水源保全条例の名称：																																												
3-2. 水質検査について																																												
① 水質基準46項目の検査の委託状況について、該当する項目を選択して下さい。 ▼ 1:全て自己検査 2:省略可能項目について委託 3:一部の項目について委託 4:全て委託 ② 自己検査の精度管理状況について該当する項目を選択して下さい。 ▼ 1:内部精度管理及び外部精度管理を行っている 2:内部精度管理のみ行っている 3:外部精度管理のみ行っている 4:精度管理を行っていない ③ 委託検査を実施している場合、委託先の検査機関における精度管理の結果を把握していますか？ ▼ 1:内部精度管理及び外部精度管理の結果を把握している 2:内部精度管理の結果のみ把握している 3:外部精度管理の結果のみ把握している 4:把握していない ④ 平成15年5月公布の新しい水質基準に追加された水質項目の委託予定について、各水質項目ごとに該当する内容を選択して下さい。 1:自己検査 2:委託検査 3:未定 <table><tr><td>・大腸菌</td><td> </td><td>▼</td><td>・ホウ素</td><td> </td><td>▼</td></tr><tr><td>・1,4-ジオキサン</td><td> </td><td>▼</td><td>・クロロ酢酸</td><td> </td><td>▼</td></tr><tr><td>・ジクロロ酢酸</td><td> </td><td>▼</td><td>・トリクロロ酢酸</td><td> </td><td>▼</td></tr><tr><td>・臭素酸</td><td> </td><td>▼</td><td>・ホルムアルデヒド</td><td> </td><td>▼</td></tr><tr><td>・アルミニウム</td><td> </td><td>▼</td><td>・ジェオスミン</td><td> </td><td>▼</td></tr><tr><td>・2-メチルイソボルネオール</td><td> </td><td>▼</td><td>・非イオン界面活性剤</td><td> </td><td>▼</td></tr><tr><td>・全有機炭素</td><td> </td><td>▼</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			・大腸菌		▼	・ホウ素		▼	・1,4-ジオキサン		▼	・クロロ酢酸		▼	・ジクロロ酢酸		▼	・トリクロロ酢酸		▼	・臭素酸		▼	・ホルムアルデヒド		▼	・アルミニウム		▼	・ジェオスミン		▼	・2-メチルイソボルネオール		▼	・非イオン界面活性剤		▼	・全有機炭素		▼			
・大腸菌		▼	・ホウ素		▼																																							
・1,4-ジオキサン		▼	・クロロ酢酸		▼																																							
・ジクロロ酢酸		▼	・トリクロロ酢酸		▼																																							
・臭素酸		▼	・ホルムアルデヒド		▼																																							
・アルミニウム		▼	・ジェオスミン		▼																																							
・2-メチルイソボルネオール		▼	・非イオン界面活性剤		▼																																							
・全有機炭素		▼																																										

3-3. 自動水質監視について

自動水質監視について、①～④について回答して下さい。

① 原水にて連続自動水質監視を実施していますか？

1:実施している

2:実施していない

実施している水質項目について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

☐ 濁度

☐ 色度

☐ pH値

☐ アルカリ度

☐ 塩素要求量

☐ TOC

☐ その他

② 浄水処理過程にて連続自動水質監視を実施していますか？

1:実施している

2:実施していない

実施している水質項目について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

☐ 濁度

☐ 色度

☐ pH値

☐ アルカリ度

☐ 残留塩素

☐ TOC

☐ その他

③ 配水池や、管路等の送配水施設にて連続自動水質監視を実施していますか？

1:実施している

2:実施していない

実施している水質項目について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

☐ 濁度

☐ 色度

☐ pH値

☐ 残留塩素

☐ その他

④ 給水管（給水栓）にて連続自動水質監視を実施していますか？

1:実施している

2:実施していない

実施している水質項目について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

☐ 濁度

☐ 色度

☐ pH値

☐ 残留塩素

☐ その他

3-3. ①～④

複数の原水、浄水処理系統がある場合、1箇所でも実施していれば「1:実施している」を選択して下さい。

3-3. ④

水道用水供給事業者においては、水道事業者への供給地点に置き換えて回答下さい。

3-4. 高度浄水処理の導入状況について

① 高度浄水処理を導入していますか？

1:導入している

2:導入していない

② 導入している場合 (①で「1:導入している」を選択した場合)、導入している浄水場名とその処理方法を記入して下さい。

I 浄水場名

導入している高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | |

II 浄水場名

導入している高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | |

III 浄水場名

導入している高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | |

IV 浄水場名

導入している高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | |

V 浄水場名

導入している高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | |

③ 高度浄水処理について、今後導入する予定がある場合、その浄水場名を記入し、その処理方法について該当する項目を下記から選択して下さい。

I 導入予定の浄水場名

導入予定の高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | ☐ 未定 |

II 導入予定の浄水場名

導入予定の高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | ☐ 未定 |

III 導入予定の浄水場名

導入予定の高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | ☐ 未定 |

IV 導入予定の浄水場名

導入予定の高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | ☐ 未定 |

V 導入予定の浄水場名

導入予定の高度浄水処理方法

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ オゾン処理 | ☐ 粒状活性炭処理 |
| ☐ 粉末活性炭処理 | ☐ 生物処理 |
| ☐ 膜処理 | ☐ 未定 |

3-4.
この問いにおける高度浄水処理とは、オゾン処理、粒状活性炭処理、粉末活性炭処理、生物処理、膜処理を指します。

3－5. ISOの取得状況について

① ISO9001取得状況について、該当するものを下記から選択して下さい。

- | | |
|--------------|------------|
| 1:取得済み | 2:取得に向け準備中 |
| 3:取得の必要性を検討中 | 4:取得予定なし |

② ISO17025取得状況について、該当するものを下記から選択して下さい。

- | | |
|--------------|------------|
| 1:取得済み | 2:取得に向け準備中 |
| 3:取得の必要性を検討中 | 4:取得予定なし |

③ その他の品質保証体制の導入予定について、該当するものを下記から選択して下さい。
なお、その品質保証体制について具体的な名称も記入して下さい。

- | | |
|--------------|------------|
| 1:取得済み | 2:取得に向け準備中 |
| 3:取得の必要性を検討中 | 4:取得予定なし |

具体的な名称:

3－5. ①～③

1:取得済み
2:取得に向け準備中
3:取得の必要性を検討中
4:取得予定なし
から選択して下さい。

3－5. ③

ISO14001は品質保証の規格ではないため、その他に記入しないで下さい。
なお、ISO14001に関しては、6.環境保全で質問いたします。

4. 住民参加について		〔記入上の注意事項〕
4-1 広報について		平成14年度の状況を回答して下さい。
① 平成14年度中に、地域住民（需要者）に対して、次に示す広報活動を実施しましたか？実施していれば1、実施していなければ2を選択して下さい。		
①-1 水質検査の計画及び結果その他水道水の安全に関する事項 ▼ 1:実施した 2:実施していない		
①-2 水道事業の実施体制に関する事項（委託の内容を含む） ▼ 1:実施した 2:実施していない		
①-3 水道施設の整備その他水道事業に要する費用に関する事項 ▼ 1:実施した 2:実施していない		
①-4 水道料金その他需要者の負担に関する事項 ▼ 1:実施した 2:実施していない		
①-5 給水装置及び貯水槽水道の管理等に関する事項 ▼ 1:実施した 2:実施していない		
①-6 臨時の水質検査の結果 ただし、平成14年度中に臨時の水質検査を実施していない場合は、3の検査実績なしを選択して下さい。 ▼ 1:実施した 2:実施していない 3:検査実績なし		
①-7 災害、水質事故等の非常時における水道の危機管理に関する事項 ▼ 1:実施した 2:実施していない		
①-8 その他の広報活動を実施している場合は、具体的に回答して下さい。 		
② 広報活動を行っている場合、どのような手段を用いて広報活動を行っているのか、該当する項目を下記からすべて選択して下さい。 ☐ インターネット ☐ 広報誌 ☐ 広報車 ☐ 児童用教材の作成 ☐ 水道週間行事等のイベント開催 ☐ パンフレット等の作成 ☐ 検針票・請求書・領収書 ☐ その他の手段（具体的に記述して下さい） 		
4-2 住民参加の取り組み方法について		
① 水道施設の一般公開について、該当する項目すべてを選択して下さい。 ☐ 小学生の社会見学として公開 ☐ 一般に公開 ☐ イベント開催時にのみ公開 ☐ 公開していない		
② 住民意見を反映している場合、どのような方法で意見を収集しているか、該当する項目すべてを選択して下さい。 ☐ モニター制度を実施 ☐ 評議会に参加 ☐ パブリックコメント実施 ☐ その他 		

5. 広域化について		【記入上の注意事項】
		5. 広域化については、現状を踏まえた今後の必要性について回答して下さい。事業体の中でも意見が分かれるものもあると思いますが、現時点における代表的な考え方を回答して下さい。
5-1. 施設更新・施設の高度化の必要性		
① 今後10年以内に施設の大規模更新の必要性がありますか？ ▼ 1:ある 2:ない ② 必要性がある場合（①で「1:ある」と回答した場合）、大規模更新の実施における課題として、該当する項目を下記から全て選択して下さい。 ☐ 財源確保 ☐ 料金値上げ ☐ 大規模更新時の代替施設の確保 ☐ その他（下記に具体的な課題を記入して下さい） ☐ 特に課題はない ③ 今後10年以内に高度浄水処理等の大規模な施設の追加・改良の必要性がありますか？ ▼ 1:ある 2:ない ④ 必要性がある場合（③で「1:ある」と回答した場合）、施設の追加・改良の実施における課題として、該当する項目を下記から全て選択して下さい。 ☐ 財源確保 ☐ 料金値上げ ☐ 施設の追加・改良時の代替施設の確保 ☐ その他（下記に具体的な課題を記入して下さい） ☐ 特に課題はない		5-1. ① 「施設」とは、浄水場、配水池などの主要施設を指します。 「大規模更新」とは、主たる機械・電気設備のほとんど、または主たる土木・建築工事などの施設のほとんどを更新することを指します。 5-1. ④ 「大規模な施設の追加・改良」とは、高度浄水処理(オゾン、粒状活性炭、生物処理)の導入、クリプトスポリジウム対策を目的とした膜処理の導入、貯留機能を有する大容量送水管の整備、配水池の新設を指します。
5-2 危機管理対策の必要性		
① 地震、施設事故、テロ、渇水等の危機管理対策について、今後の施設整備や体制等の強化の必要性があると考えますか？ ▼ 1:ある 2:ない ② 必要性がある場合（①で「1:ある」と回答した場合）、危機管理対策強化の課題として、該当する項目を下記から全て選択して下さい。 ☐ 財源確保 ☐ 料金値上げ ☐ 人員不足 ☐ 技術不足 ☐ その他（下記に具体的な課題を記入して下さい） ☐ 特に課題はない		

5－3. 水源・水質管理の必要性

① 水質管理について、今後、強化の必要性があると考えますか？

 ▼

1:ある 2:ない

必要がある場合 (①で「1:ある」と回答した場合) の理由について、想定される項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 原水水質の悪化 ☐ 水質事故等の増加 ☐ 安全性の強化のため
☐ 水質基準の見直し ☐ 需要者の要望
☐ その他

② 水源保全のための流域的な協力が必要であると考えますか？

 ▼

1:ある 2:ない

必要がある場合 (①で「1:ある」と回答した場合) の理由について該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 水源水質の悪化 ☐ 水源の事故が増加 ☐ 健全な水循環構築のため
☐ 水質基準の見直し ☐ 住民や需要者の要望
☐ その他

5－3. ②

流域的な協力とは、連絡体制の整備、水源林保全などです。

5－4. 技術者の確保の必要性

① 水道事業に関わる業務を遂行するにあたって、現在の技術者数や、技術者の能力で、今後に対応できると考えますか？

 ▼

1:対応できる 2:対応できない

② 対応できないと考える場合 (①で「2:対応できない」と回答した場合)、今後の対策として、実現可能な項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 内部職員の技術力向上 (研修、技術継承等)
☐ 外部からの技術者の採用
☐ 外部への委託
☐ その他

5-5. 経営状況について

① 現状の経営(財政)状況について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 経常損失状況が継続している
 ☐ 累積欠損金がある
☐ 繰入金比率が高い
 ☐ 当座資産が少ない
☐ 自己資本構成比率が低い
 ☐ 企業債の償還残高が多い
☐ その他

② 現状の経営(財政)状況が健全であると考えていますか？

▼
 1:健全である 2:健全でない

また、今後の経営状況に関して、現状に比べてどうなると考えていますか？

- ☐ 良くなる
 ☐ 変わらない
 ☐ 悪くなる

③ 今後、料金値上げの必要性があると考えていますか？

▼
 1:5年以内にある 2:5年～10年以内にある
 3:ない

必要性がある場合(③で「1:5年以内にある」、「2:5年～10年以内にある」を回答した場合)、値上げの理由として該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 料金収入の減少
 ☐ 維持管理費の増加
 ☐ 支払利息の増加
☐ 企業債償還元金の増加
 ☐ 一般会計からの繰入・補助金などの削減
☐ 自己資本造成
 ☐ 累積欠損金の解消
☐ その他

④ 今後、必要な事業を執行していくにあたり、安定的な財源が確保されると思いますか？

▼
 1:確保される 2:不足するまたは不安がある

④で「2:不足するまたは不安がある」と回答した場合、その対策として、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 料金値上げによる自己資本造成
 ☐ 経営の効率化による剰余金確保
☐ 企業債の借り入れ
 ☐ 国庫補助金等の確保
 ☐ 一般会計補助金等の確保
☐ 民間資金の活用
 ☐ 事業の先送り
 ☐ 工事コストの低減化
☐ その他

⑤ 今後、業務委託の範囲を拡大する予定がありますか？

▼
 1:予定あり 2:検討中である 3:予定なし

委託範囲の拡大を予定している場合(⑤で「1:予定あり」を回答した場合)、その業務内容として該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- ☐ 水質検査
 ☐ 水質管理
 ☐ 施設の運転管理
☐ 保守点検等施設の維持管理
 ☐ 施設・管路の設計、工事監理
☐ 検針、料金徴収
☐ その他

5-5. ①

「経常損失状況」とは
経常収支比率が100%未満の状況であり、経常収支比率(%)は、(営業収益+営業外収益)÷(営業費用+営業外費用)で求められるものです。

「累積欠損金」とは
欠損金が次年度に繰り越され、多年度にわたって累積したものです。

「繰入金比率」とは
収益的収入と資本的収入それぞれの収入における繰入金依存度を示すものであり、収益的収入分は
損益勘定繰入金÷収益的収入で求められ、
資本的収入分は
資本勘定繰入金÷資本的収入で求められるものです。

「当座資産」とは
流動資産の現金・預金等を指します。

「自己資本構成比率」とは
自己資本が総資本に占める割合を指し、
自己資本(自己資本金+剰余金)÷総資本(資本+負債)で求められるものです。

5-5. ③

「自己資本造成」とは
自己資本や剰余金を内部留保金として蓄えることを指します。

5-6. 広域化について

- ① 事業経営の中で、今後の課題になると考えられる内容について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 施設の更新 | ☐ 危機管理体制 | ☐ 水質管理 |
| ☐ 施設運転管理 | ☐ 技術者の確保 | ☐ 財政基盤 |
| ☐ 水源確保 | ☐ 給水サービス | ☐ 特になし |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

- ② 今後の課題に対する解決手段として、有効と考えられる方法について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ☐ 事業統合 | ☐ 水道法に基づく第三者委託 |
| ☐ 地方自治法に基づく公の施設の管理代行制度（公設民営） | |
| ☐ 地方独立行政法人化 | ☐ 民営化 |
| ☐ その他 | <input type="text"/> |

<事業統合について>

- ③ 事業統合により、期待される効果について、該当する項目を下記から選択して下さい。

- | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| ☐ 老朽化施設の計画的更新 | ☐ 危機管理対応の強化 | ☐ 水質管理体制の強化 |
| ☐ 施設の維持管理強化 | ☐ 水源の確保 | ☐ 技術者の確保 |
| ☐ コストの削減 | ☐ 財政基盤の強化 | ☐ 水道料金の安定化・均一化 |
| ☐ 給水サービスの均一化 | ☐ 省エネルギー・省資源等の環境保全対策の強化 | |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

- ④ 将来的にも健全な水道事業運営を行うためには、どの程度の規模が適当であると考えますか？ 該当する項目を下記から選択して下さい。

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 給水人口5万人未満 | ☐ 給水人口5万人程度 | ☐ 給水人口10万人程度 |
| ☐ 給水人口20万人程度 | ☐ 給水人口30万人程度 | ☐ 給水人口50万人程度 |
| ☐ 給水人口70万人程度 | ☐ 給水人口100万人以上 | |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

- ⑤ 事業統合を進める場合に想定される問題について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 料金格差 | ☐ 職員の処遇 | ☐ 水源に関わる問題 |
| ☐ 補助金要件が変わる | ☐ 施設水準の格差 | ☐ 財政状況の格差 |
| ☐ 給水サービスの格差 | | |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

⑥ 水道法に基づく第三者委託により、期待される効果について、該当する項目を下記から選択して下さい。

- | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| ☐ 老朽化施設の計画的更新 | ☐ 危機管理対応の強化 | ☐ 水質管理体制の強化 |
| ☐ 施設の維持管理強化 | ☐ 水源の確保 | ☐ 技術者の確保 |
| ☐ コストの削減 | ☐ 財政基盤の強化 | ☐ 水道料金の安定化・均一化 |
| ☐ 給水サービスの均一化 | ☐ 省エネルギー・省資源等の環境保全対策の強化 | |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

⑦ 水道法に基づく第三者委託を進める場合に想定される問題について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------|
| ☐ 適当な委託先がない | ☐ 委託する利点がない | ☐ 職員の処遇 |
| ☐ 技術者の育成ができない | ☐ 委託するための諸手続が複雑または不明 | |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

⑧ 現在、広域化を検討していますか？

1:検討している 2:検討していない

検討している場合、その理由について、下記から全て選択して下さい。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ☐ 市町村合併のため | ☐ 事業経営上の課題を解決するため（経営基盤強化） |
| ☐ その他 | <input type="text"/> |

検討している場合、その内容について、該当する項目を下記から全て選択して下さい。

- | | | |
|-------------------------------------|--|----------------------------------|
| ☐ 他事業体との統合 | ☐ 用水供給事業の末端水道事業統合 | |
| ☐ 第三者委託制度の活用 | ☐ 簡易水道の統合 | ☐ 共同施設の設置 |
| ☐ その他 | <input type="text"/> | |

5－6. ⑧

ここでの広域化の定義は、事業統合、第三者委託制度、共同施設の設置とします。

6. 環境保全について

[記入上の注意事項]

6-1. ISO14001 (環境ISO) の認証取得状況について(記入日現在)

- ① 浄水場における ISO14001 (環境ISO) の認証取得状況について、貴事業における浄水場を対象に、取得している浄水場数と、取得していない浄水場数を記入して下さい。

認証を取得している浄水場数

箇所

認証を取得していない浄水場数

箇所

- ② 認証を取得している場合、その登録年度を下記の項目から選択して下さい。
なお、登録年度が複数ある場合は、全て選択し、登録年度ごとの浄水場数を記入して下さい。

☐ 平成10年度以前

箇所

☐ 平成11年度

箇所

☐ 平成12年度

箇所

☐ 平成13年度

箇所

☐ 平成14年度

箇所

☐ 平成15年度

箇所

6-1. ①の浄水場における ISO14001認証取得とは、浄水場が認証の組織名、組織事業所名、登録範囲のいずれかに含まれている場合をいう。記入日現在で記入して下さい。

6-1. ②は、登録年度を選択して下さい。もし、浄水場ごとに登録年度が異なる場合などは、全ての登録年度を選択し、年度ごとの登録浄水場数を記入して下さい。

6-2. 環境会計の導入状況について(記入日現在)

- ① 貴事業について、環境会計を導入していますか？



1:導入している

2:導入していない

- ② 導入している場合、導入年度を記入して下さい。

平成

年度

6-2. は、記入日現在で記入して下さい。

6-3. 水質汚濁防止法特定事業場浄水場の状況について (平成15年3月31日現在)

- ① 貴事業における全浄水場について、その浄水場数、年間給水量、年間排水量の合計を記入して下さい。

浄水場数

年間給水量

m3

年間排水量

m3

- ② 貴事業における浄水場の中で、水質汚濁防止法上の特定事業場である浄水場について、その浄水場数、年間給水量、年間排水量の合計を記入して下さい。

浄水場数

年間給水量

m3

年間排水量

m3

6-3. の浄水場数は平成14年度末(平成15年3月31日)現在の状況を記入して下さい。年間給水量、年間排水量は、平成14年度の実績を記入して下さい。

6-4. エネルギー管理指定工場の状況について

- ① 貴事業における水道施設の平成14年度の年間電気使用量の合計を記入して下さい。

年間電気使用量(合計)

kWh

- ② 貴事業における水道施設のうち、エネルギー管理指定工場の、(第一種・第二種)電気管理指定工場として届出されている施設がありますか？(記入日現在)



1:ある

2:ない

- ③ ②で「1:ある」と回答した場合、電気管理指定工場(第一種・第二種電気)の工場数(記入日現在)と、該当する施設の平成14年度の年間電気使用量の合計を記入して下さい。

工場数

年間電気使用量(合計)

第一種電気管理指定工場:

箇所

kWh

第二種電気管理指定工場:

箇所

kWh

6-4. ①は、平成14年度の年間電気使用量(合計)を記入して下さい。

6-4. ②のエネルギー管理指定工場とは、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)に基づくものです。記入日現在の状況をお答え下さい。

6-4. ③の年間電気使用量(合計)は、記入日現在に届け出されている電気管理指定工場の、平成14年度の年間電気使用量の合計を記入して下さい。

7. その他について

7-1. 浄水場の更新状況 (平成14年度末現在)

平成14年度末現在の浄水場の諸元について、次の項目を記入して下さい。
 なお、浄水場が複数系統に区分され、建設年度等が異なる場合には、各系統について記入して下さい。

番号	①浄水場名	②系統	③竣工 年度 (西暦)	④施設 能力 (m3/日)	⑤浄水 処理 区分	⑥高度 処理 の有無	⑦高度処理の導入 年度 (西暦)	⑧主な水源の 区分	⑨土木施設の更新 実績(西暦 年度)	⑩機械・電気・ 施設のほとん どの更新実績 (西暦年度)
1					▼	▼		▼		
2					▼	▼		▼		
3					▼	▼		▼		
4					▼	▼		▼		
5					▼	▼		▼		
6					▼	▼		▼		
7					▼	▼		▼		
8					▼	▼		▼		
9					▼	▼		▼		
10					▼	▼		▼		
11					▼	▼		▼		
12					▼	▼		▼		
13					▼	▼		▼		
14					▼	▼		▼		
15					▼	▼		▼		
16					▼	▼		▼		
17					▼	▼		▼		
18					▼	▼		▼		
19					▼	▼		▼		
20					▼	▼		▼		
21					▼	▼		▼		

【記入上の注意事項】

浄水場の諸元の記入について、
塩素消毒のみの浄水場については、
 記入の必要はありません。

②系統について
 同一浄水場内に建設年度の異なる複数の
 浄水処理系統がある場合は、その系統名を記
 入し、系統ごとに諸元を記入してください。
 (例.1系、2系など)

③竣工年度について
 竣工年度は西暦で記入して下さい。
 ④施設能力について
 現有施設の能力を給水量ベースで記入して
 下さい。

⑤浄水処理の区分について
 01急速ろ過、02緩速ろ過、03膜ろ過、
 から選択して下さい。

⑥高度浄水処理の有無について
 浄水場または浄水場の系統における高度浄
 水処理の有無を応えてください。なお、ここで
 の高度浄水処理とはオゾン処理、粒状活性炭
 処理、生物処理を指します。

⑦高度浄水処理の導入年度について
 高度浄水処理の導入年度が、竣工年度とこ
 となる場合、その西暦を記入してください。

⑧主な水源の区分について
 01ダム直接、02ダム放流水、03湖沼水、04
 表流水(自流)、05伏流水、06浅井戸、07深井
 戸、08湧水、09海水、10その他
 から選択して下さい。

⑨土木施設を含めた更新実績について
 竣工年度以降に、土木施設を含めた更新を
 実施した場合は、更新年度を西暦で記入して
 下さい。また、更新が複数の年度にまたがる場
 合は、最終年度を記入して下さい。

⑩機械・電気施設のほとんどの更新実績 に
 ついて
 竣工年度以降に、機械・電気施設のほとん
 どの更新を実施した場合は、更新年度を西暦
 で記入して下さい。また、更新が複数の年度
 にまたがる場合は、最終年度を記入して下さい。

22					▼	▼		▼		
23					▼	▼		▼		
24					▼	▼		▼		
25					▼	▼		▼		
26					▼	▼		▼		
27					▼	▼		▼		
28					▼	▼		▼		
29					▼	▼		▼		
30					▼	▼		▼		

お願い
 浄水場数が30を超え、上記表に入らない場合
 は、「内容についての問い合わせ先」までご連絡
 下さい。

7-2. 管路の布設年度別延長 (平成14年度末現在)

平成14年度末現在の管路延長 (導・送・配水) を布設年度別に記入して下さい。
なお、口径の内訳が不明の場合は概数でかまいません。

布設年度	管路延長 (m)			
	小口径 (φ 300mm未満)	中口径 (φ 300mm～1000mm)	大口径 (φ 1000mm以上)	計
1940年以前				0
1941年～1950年				0
1951年～1960年				0
1961年～1970年				0
1971年～1980年				0
1981年～1990年				0
1991年以降				0
計	0	0	0	0

7-2. は、平成14年度末現在で記入して下さい。
ただし、平成14年度末の状況が整理できていない場合は平成13年度末現在でも結構です。

7-3. 浄水池・配水池の上部利用について (記入日現在)

7-3-1. 浄水場内の浄水池、配水池について

① 貴事業における浄水場内の浄水池または配水池の全ての水平投影面積を記入して下さい。

水平投影面積 m2

② 貴事業における浄水場内の浄水池または、配水池のうち、上部を利用している浄水池または、配水池がありますか？

1:ある 2:ない

③ ②で「1:ある」と回答した場合、上部利用の内容として該当する項目を下記から全て選択し、その概ねの面積 (水平投影面積) を記入して下さい。

*水道用施設として利用	上部利用面積
☐ 事務室、運転管理室、水質試験室等の設置	m2
☐ 機械室、電気・計装設備室等の設置	m2
☐ 当該浄水池・配水池以外の池または水槽	m2
☐ 太陽光発電施設	m2
☐ 水道用資機材倉庫	m2
☐ 職員・外来用駐車場	m2
☐ その他	m2
その他の内容 	

水道用施設として利用の面積の合計 0 m2

*第三者利用	上部利用面積
☐ 公園、運動場	m2
☐ 公共・公益施設	m2
☐ 商業施設	m2
商業施設の内容 	
☐ 駐車場	m2
☐ 倉庫	m2
☐ その他	m2
その他の内容 	

第三者利用の面積の合計 0 m2

上記全ての上部利用面積の合計 0 m2

7-3. は記入日現在で記入して下さい。
7-3-1. ①の水平投影面積は、各池の「有効容量÷有効水深」で算出し、その合計を記入して下さい。

7-3-1. ③
商業施設、その他については、具体的な内容を記入して下さい。

7-3-2. 浄水場外の配水池等について

① 貴事業における浄水場外の配水池、配水塔の全施設箇所数を記入して下さい。

施設箇所数 箇所

② 貴事業における浄水場外の配水池、配水塔のうち、上部を利用している配水池、配水塔がありますか？

1:ある 2:ない

③ ②で「1:ある」と回答した場合、上部利用の内容として該当する項目を下記から全て選択し、その箇所数を記入して下さい。

7-3-2. ③
商業施設、その他については、具体的な内容を記入して下さい。

*水道用施設として利用

上部利用施設箇所

☐ 事務室、運転管理室、水質試験室等の設置

☐ 機械室、電気・計装設備室等の設置

☐ 当該浄水池・配水池以外の池または水槽

☐ 太陽光発電施設

☐ 水道用資機材倉庫

☐ 職員・外来用駐車場

☐ その他

箇所

箇所

箇所

箇所

箇所

箇所

箇所

その他の内容

*第三者利用

上部利用施設箇所

☐ 公園、運動場

☐ 公共・公益施設

☐ 商業施設

箇所

箇所

箇所

商業施設の内容

上部利用施設箇所

☐ 駐車場

☐ 倉庫

☐ その他

箇所

箇所

箇所

その他の内容

水道用施設として利用の面積の合計 0 箇所

第三者利用の面積の合計 0 箇所

上記全ての上部利用面積の合計 0 箇所